

第10回 宇和島市立伊達博物館建替委員会 会議録

- 日 時 令和3年2月16日(火) 15:00～17:00
- 場 所 宇和島市役所 A 棟会議室
- 出席者 [宇和島市立伊達博物館建替委員会委員(順不同、敬称略)]
岡原 文彰、玉田 光彦、金瀬 聡、福島 朗伯、三曳 重郎、
伊達 宗信、二宮 信彦、廣瀬 孝子、木村 宗慎、有間 義恒
藤堂 真二、二宮 一之、田中 広興
- 欠席者 土居 哲也、日前 賢一郎、三好めぐみ
[事務局]
教育部長
文化・スポーツ課長
伊達博物館(館長、係長)
株式会社トータルメディア開発研究所
- 議 事 (1) 報告・説明事項
①基本計画に係る意見集約結果について
(2) 協議事項
①基本計画の策定について
(3) その他

次 第

- 1 開会
- 2 議事
- 3 閉会

■会議の記録

1 開 会

(事務局による司会進行)

委員長

(委員長挨拶)

- ・本日は基本計画策定に関わる内容となる。各意見を集約したり、皆様からの御意見を踏まえて、委員会としての計画を最終的に採択させていただきたいと思う。活発な議論を含めて、よろしく願います。

2 議 事

(1) 報告・説明事項について

①基本計画に係る意見集約結果について

事務局

- ・2月10日までに委員各位からの基本計画に対する考え方の意見を募ったが、意見はなかった。

(2) 協議事項について

①基本計画の策定について

委員長

- ・基本計画案の最終的な協議をさせていただきたいと思う。
- ・先般、各市議会議員と意見交換をさせていただく機会があった。津波等災害が起こった時のことについて、災害時の対応をきちんと担保してもらい、今後の議論にさせていただきたいという意見が強く寄せられた。
- ・「8新博物館のゾーニング」について、「地域の歴史文化の再生と共創の場として役立て、利用しやすいように1階に設置します。」という文言があるが、設計上の自由度を広げ、災害時の対応を含めて検討してもらえよう、「1階」部分を省いた方がよいと思う。御賛同いただける委員は挙手をお願いする。では事務局に訂正をお願いする。

A 委員	・津波対策について、トータルメディア開発研究所の考え方をお聞かせいただきたい。
トータル メディア (以下 TM)	・構造の専門ではないが、ピロティについて、東日本大震災の津波が来た時に、ピロティが有利に働いたという記事があった。しかし、阪神淡路大震災や熊本地震の時にはピロティが倒壊してしまったという例もある。今の段階で構造形式まで限定するのは危険であると思う。
A 委員	・それを考慮して、設計をお願いしたいと思う。
委員長	・ピロティ部分が構造不足で弱かったということか。 ・基本計画を、一項目ずつ読み上げ確認して、万全を期したい。
事務局	・(基本計画案 1 ページ目読み上げ)
B 委員	・南海トラフ大地震について、気象庁では南海トラフ地震か巨大地震という使い方をしている。どちらかに合わせた方がよい。
委員長	・他にあるか。よろしければ 2 ページ目をお願いする。
事務局	・(基本計画案 2 ページ目読み上げ)
委員長	・特に何も無いようであれば次ページをお願いする。
事務局	・(基本計画案 3 ページ目読み上げ)
委員長	・津波や水害についての記述が多いが、地震についての記述が少ない。これは「6 新博物館の基本方針」5 の②の文言で担保されているということか。
事務局	・ゾーニングについての内容になるので、そういった記述が多くなっている。
T M	・公開承認施設の条件として、第 1 番目に耐震耐火構造でなければならないという文化庁の指針があり、この段階でクリアしなければならないことになっている。

- 委員長
- ・天赦公園に決定した文言の中に、「災害の安全性については現博物館敷地の方が若干有利だが大きな差異はない」とあるが、どのような差があるのか。
- 事務局
- ・津波浸水、洪水リスクのマップでは、現博物館と天赦公園の間にある会見の松がある市道にラインが引かれている。
 - ・しかし実際にはA案、B案の直線距離は100メートル程度しかなく、全体的な評価におけるB案の優位性を覆すほどの、安全性におけるメリットがA案にはない、という意図である。
- C委員
- ・「9新博物館の規模」の1階交流ゾーンは、2階建てを想定した場合の広さであって、3階建てにした場合には6000㎡くらいの広さが必要になるのではないか。
- T M
- ・仮に3階建てにしたとしても、2階に展示室、3階に収蔵庫という形で分散すれば、6000㎡までは必要ないと想定している。
- D委員
- ・交流ゾーンの図の中に、観光案内所的なことをさせていただきたい。
- 委員長
- ・歴史文化に寄った観光コースや体験の仕方、資料の紹介等の歴史観光紹介コーナーのようなものがあればいいのではないか。事務局は、もっとわかりやすく観光振興に資するコーナーの件を図の中に加えておくように。
- 事務局
- ・「8新博物館のゾーニング」に、収蔵庫の温度22度±2となっているが、前ページの企画展示室では±1となっている。これはどちらが正しいのか。
- T M
- ・2が正しい。
- 事務局
- ・交流ゾーンには情報コーナーが入るということによろしいか。

- 委員長
- ・この文言は入れてよろしいか。御賛同いただいたということで、4ページに移りたいと思う。
- 事務局
- ・(基本計画案4ページ目読み上げ)
- 委員長
- ・議会からは、児童公園も含めて博物館が整備される場合、天赦園も含めた歴史的な伊達エリアの景観に配慮したものになる方が望ましいのではないかと御意見が寄せられた。それは基本構想に盛り込まれている文章で担保されるという理解でよろしいか。
- 事務局
- ・事務局としてはそのように理解している。
- 委員長
- ・5ページ目に移りたいと思う。
- 事務局
- ・(基本計画5ページ目読み上げ)
- C委員
- ・事業費概算に津波対策等の項目が入っていない。これは概算でしかないと思うが、実際に増えた場合、大丈夫なのか。
- 委員長
- ・災害対策工事費というものはありえるのか。
- T M
- ・耐震化や津波対策は、建築の設計や工事費に含まれる。液状化対策は地面を改良するものであり、建物にかかるお金、地面にかかるお金、両方でみるということで書かせていただいた。どちらにも配慮したものになりうると思う。
- 委員長
- ・液状化対策費等を含む内容という理解でよろしいか。
- 事務局
- ・事業費概算について、消費税別の表記が混乱を起こしているようであるが、どうか。
- D委員
- ・税込みの方がいい。
- 委員長
- ・この資料をパブリックコメント等で使い続けていた。文章だから問題ないという認識か。

- 事務局
- ・今までこの資料で説明してきた、わかりにくいという指摘があった。
- 委員長
- ・税別で表記すると恣意的に少なくしようとしているという話になりかねない。しかし、年度末の基本計画の段階で税込みの1割増額されていると、金額が上がったのかと心配されかねない。このまま税別という表記でもよいかと思うが、どうか。
- B委員
- ・消費税別と、36億円の横にはっきり書いておけばよいのではないか。
- 委員長
- ・税別表記をわかりやすくする。皆様いかがか。御了承いただけたらどうか。
- B委員
- ・36億円を上限ととらえて意見を言われる方が大勢いる。費用は今後によって変わってくるし、津波対策などで増えざるをえない部分もあるので、多少異なるということを納得いただきたい。「算出したものであり、あくまで概算である」とはっきり書いていただきたい。
- 委員長
- ・一般の方には「これによって算出された概算であり」と入れた方が御理解いただきやすいと思うが、いかがか。では事務局の方で対応をお願いします。
 - ・費用について、これは概算であり、増減はありえる。基本計画を満たし、優れた建築にするために、これをベースに重ねていくということで、御了承いただいている。文言はもう少しわかりやすく、あくまで概算であることが明文化されるように、修正をお願いします。
- E委員
- ・「12事業スケジュール案」に「めざします」とあるが、あえてひらがなにしているのか。

- 委員長
- ・表記の統一をお願いします。
 - ・他になければ、以上の内容を含めて基本計画案の採択に移りたいと思う。各委員、挙手で採択したいと思うが、まず細かい事務的な内容の修正は事務局に一任ということによろしいか。
- E 委員
- ・異議なし
- 委員長
- ・内容の修正は事務局に一任ということで賛成の方、挙手をお願いします。では全会一致とさせていただきます。
 - ・内容修正は事務局に一任した上で、伊達博物館改築事業基本計画について、この内容で採択ということによろしいと思われる方は挙手をお願いします。全会一致を持って、委員会としての基本計画を策定した。
- (3) その他
- 事務局
- ・スケジュールどおり、これから業者選定の手続にかかりたい。報告等があれば、その都度皆様に集まっていたり、資料を提出するので、御協力をお願いします。
- 委員長
- ・次年度からは基本設計等々を含めた協議に入る。また皆様には御苦勞をおかけすると思うが、よろしくをお願いします。
 - ・基本計画案の内容の公示はどういった方法で行われるのか。
- 事務局
- ・行政内での決裁の後、速やかに HP 等で掲示する。
- 委員長
- ・パブリックコメントの公開もされているのか。
- 事務局
- ・公開している。
- 委員長
- ・市の広報やチラシ等で市民に周知しているので、パブリックコメントの回答も含めて、基本計画案が公開されていることを、可能であれば市の行政 HP だけでなく、市の広報等での周知の努力をお願いします。

F 委員

- ・周知の仕方について、弱すぎると思っている。地元の業者等に関心を持ってもらえるよう、マスコミの使い方、イベント等での周知を考えなければならないと思う。
- ・宇和島の子どもたちに博物館の基本計画を伝えたり、世論を巻き込んでどうか。

委員長

- ・子どもたちに、見に行きたくなる新しい博物館をテーマにしたコンクール等を行ったり、大小取り混ぜてお願いしたい。広報に載せ、マスコミに流して終わりということではない。各委員それぞれの団体もしくは組織からお越しいただいているので、様々なアイデアを出していただくよう、引き続き御協力をお願いし、閉会とする。